

開場 13:30
第1部 14:00~

映画: ぶんぶん通信 No.2 (鎌仲ひとみ作品・2009年・63分)

※「ぶんぶん通信」: 鎌仲ひとみさんの新作「ミツバチの羽音と地球の回転」(仮題)の制作途中を報告するビデオレター。原子力発電所建設のための埋め立ての危機にさらされる生物多様性のホットスポット・田ノ浦の自然に焦点を当てる。

第2部 15:30~

お話の前に長島の自然の様子を知ることが出来る、
「長島の自然を守る会」製作のDVD「瀬戸内の原風景 長島」を上映。

お話: 野間直彦さん

(滋賀県立大学環境学部環境生態学科・
日本生態学会・上関要望書アフターケア委員)

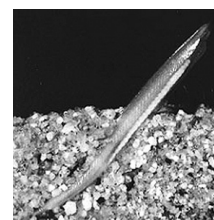
同時開催☆上関・田ノ浦写真展

★緑のハートでつなげよう Green Hearts プロジェクト
地元・祝島物産も販売します。お楽しみに!

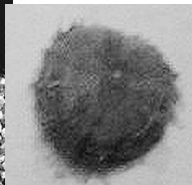
見に来てね~!



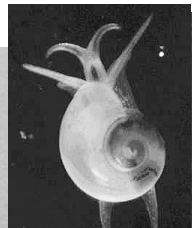
いのち、つないでー生物多様性のホットスポット 瀬戸内海の海と島に 生きる生物を応援しよう! 映画とお話の会



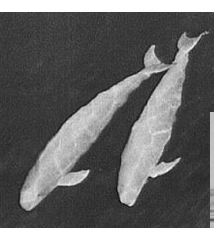
「進化の生き証人」と
いわれるナメクジウオ
(姫路市立水族館提供)



カサシヤミセン
(羽熊撮影)



ヤシマイシン近似種



長島の近くを泳ぐ
スナメリ



カンムリウミスズメ

山口県の南西部に位置する上関の海(長島・田ノ浦海域)は、「瀬戸内海に奇跡的に残された瀬戸内海で最も生物の多様性が高い海域の中心地」です。

ここには、絶滅危惧種のカンムリウミスズメやハヤブサなどの鳥、小さなクジラのスナメリ、希少な貝類などの海生物、また、島の岩壁に根付くヒノキ科のビャクシンなどが多く息づき、この豊かな生物相に支えられて沿岸漁業が営まれてきました。

今、周辺の里山を削り、豊かな生態系の海を埋め立てて、原子力発電所が建設されようとしています。生態系の破壊は、多数の生物の死滅はもちろん、漁業や生活文化の衰退をも意味します。

瀬戸内海で最後に残った生物多様性のホットスポットと言われる場に、映像とお話で思いを馳せてみませんか。

写真提供「長島の自然を守る会」

☆日程: 12月27日(日) 14時~(開場13時半)

☆会場: 文京区勤労福祉会館・区民会議室
(文京区本駒込4-35-15 駒込駅(東口)下車 徒歩9分/田端駅(北口)下車 徒歩10分)

☆参加費: 1200円(1部、2部通し)

第1部: 「ぶんぶん通信」鑑賞のみの場合は400円

第2部: お話からの参加は800円(お茶・お菓子付き)

主催・問い合わせ:

ももんがともだちネット momotomonet@hotmail.co.jp
090-9106-0308 (夜間のみ)

今とこれからを考える一滴の会 03-5313-1525



詳細プログラムはももんがともだちネットブログで確認!
アドレス: <http://momotomonet.seesaa.net/>

